

授業科目(ナンバリング)	介護基礎学Ⅱ (DA104) (実践的教育科目)			担当教員	※田中 千恵美 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>専門職として介護を展開する際には、科学的根拠に基づいて、今後予測しうる様々な状況を想定していく能力が必須である。その基礎として、人体の構造や心身機能に関して基本的事項を理解し、移動、睡眠、身じたくや入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等の介護行為に関して心身から両面とらえることができ、安全面での留意点や心理的配慮ができるようになる。様々な機能障害が起こり、疾病等が生じる事例などを、実務経験を踏まえた事例などを織り交ぜながら、より理解を深めていく。</p> <p>本講義では、介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とすることもねらいとしたい。</p>							①③⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	基礎的な身体やこころのしくみを踏まえ、障害や疾病に起因する背景を説明できる。			・定期試験 ・小テスト		40% 10%	
情報収集、分析力	自分の身体に起こる様々な現象を気付き、その機序を調べ、考察できる。			・課題レポート		10%	
コミュニケーション力	人間の諸臓器の解剖・生理を理解し、それぞれの関連性を説明できる。			・受講者の発表		20%	
協働・課題解決力	人間の身体に起こる様々なトラブルについて、その機序を理解し、主な対処方法を説明できる。			・定期試験		20%	
多様性理解力	人間の身体に起こる様々なトラブルなどが今後いかに人のQOLに影響するかを説明できる。						
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を60%とし、筆記試験を行う。 定期試験は、身体各部の名称や働きについて正確な知識の習得を評価する。 ・授業中の受講者の発表(20%)の取り組みや、小テスト(10%)への取り組みや成績も総合的に評価する。 ・小テスト等のフィードバックは授業中に適宜行う。また、小テストの内容は自己学習の資料としても使用する。 ・また、12回目に課題レポート(10%)を課し、内服する際の人体の作用等について考察する 							
授業の概要							
<p>人間の日常生活の基本となる、移動、睡眠、身じたく、入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等に関連する介護技術の根拠となる知識についての理解を深めていく。様々な機能障害が起こり、疾病等が生じる事例などを、保健師・看護師の経験を踏まえた事例などを織り交ぜながら、より理解を深めていく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成講座 11/こころとからだのしくみ/中央法規 ：ぜんぶわかる人体解剖図/成美堂出版</p> <p>指定図書：系統看護学講座/解剖生理学/医学書院</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ただ単に、介護技術を提供するだけでは、専門職とはいえない。専門の知識や技術を用い対象者の状況にあった介護を展開していくことが重要である。そのために必要な科学的根拠となる身体の構造や働き、精神的な関連などを学び、介護過程をはじめとする、介護全般の基礎をしっかりと身につけて欲しい。</p> <p>また、授業中の態度に問題のある学生に対しては、減点の対象とする。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	こころとからだのしくみⅡ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ①	入浴・清潔保持に関連した身体機能のしくみと働きについて理解する。	予：皮膚の生理機能について調べる 復：要点整理
2	こころとからだのしくみⅡ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ②	心身の機能低下が食事に及ぼす影響に及び変化の気づきと対応について理解する。	予：虚弱高齢者の入浴のリスクについて調べる 復：要点整理
3	こころとからだのしくみⅡ 口腔清潔に関連したこころとからだのしくみ	口腔内を清潔に保つ意味、口腔ケアの定義と目的を学ぶ。また、口腔ケアの留意点について理解する。	予：口腔の働きについて調べる 復：要点整理
4	こころとからだのしくみⅡ 排泄に関連したこころとからだのしくみ①	排泄に関連して、排泄の生理的な意味や、心理的な意味基礎知識、便の生成（消化・吸収）や排便のしくみ、尿の生成や排尿のしくみについて復習する。	予：排泄の機序について調べる 復：要点整理
5	こころとからだのしくみⅡ 排泄に関連したこころとからだのしくみ②	排泄に関連して、尿や便の生成、排尿排便のしくみ、尿や便の性状や量、回数などを理解し、排泄に関連する機能の低下や障害の原因、心理面へ及ぼす影響について学ぶ。また、おむつの弊害等についても学ぶ。	予：正常な排便と排尿の量と回数について調べる 復：要点整理
6	こころとからだのしくみⅡ 排泄に関連したこころとからだのしくみ③	機能の低下や障害が及ぼす排泄への影響として、排便の異常（便秘、下痢等）について学ぶ。	予：便秘と下痢の機序について調べる 復：要点整理
7	こころとからだのしくみⅡ 排泄に関連したこころとからだのしくみ④	機能の低下や障害が及ぼす排泄への影響として、排尿の異常（頻尿、尿失禁など）について学ぶ。同時に、尿失禁に気づき把握するための観察ポイントや対応についても学ぶ。また、変化への気づきと対応を重点に、医療機関や医療職との連携について学ぶ。 小テスト	予：排尿障害の分類をまとめる 復：要点整理
8	こころとからだのしくみⅡ 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ①	睡眠に関連した身体機能のしくみと働きについて理解する。	予：レム睡眠とノンレム睡眠について調べる 復：要点整理
9	こころとからだのしくみⅡ 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ②	睡眠に関連する機能の低下や障害の原因、機能低下や障害が及ぼす睡眠への影響について理解する。変化への気づきと対応、医療機関や医療職との連携について学ぶ。	予：睡眠障害がQOLに与える影響について調べる 復：要点整理
10	こころとからだのしくみⅡ バイタルサインの理解①	生命兆候とされるバイタルサインの意味を理解できる。呼吸、体温について学ぶ。＜実習＞	予：呼吸と体温の測定方法について調べる 復：要点整理
11	こころとからだのしくみⅡ バイタルサインの理解②	生命兆候とされるバイタルサインの意味を理解できる。意識、脈拍、血圧について学ぶ。＜実習＞	予：意識、脈拍、血圧の測定方法について調べる 復：要点整理
12	こころとからだのしくみⅡ 薬の知識	薬が身体に与える影響を知り、基本的な観察や留意点について学ぶ 課題レポート「内服薬を服用する際の留意点について」	予：薬が身体に与える影響について調べる 復：要点整理
13	こころとからだのしくみⅡ 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ（死にゆく人のこころとからだのしくみ）①	死の捉え方及び生物学的、法律的、臨床的な死について学ぶ。終末期から危篤という死に至る身体の機能の低下の特徴を学び、死亡時のからだ、死後の身体的変化について学ぶ。	予：学生自身の身近な人への死に直面した体験についてまとめる 復：要点整理
14	こころとからだのしくみⅡ 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ（死にゆく人のこころとからだのしくみ）②	死に対するこころの理解として、死に対する恐怖や不安について学び、死の受容の段階等について学ぶ。死については本人だけの事ではない。家族の「死」を受容する段階についても学ぶ。	予：家族の死の受容について調べる 復：尊厳死についてまとめる
15	こころとからだのしくみⅡ 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ（死にゆく人のこころとからだのしくみ）③	様々な苦痛の緩和のために行われる医療の実際と介護の連携を理解し、死に至る身体的な変化や、死への不安や受容を踏まえた医療機関や医療職との連携のあり方について学ぶ。	予：死についての我が国の法的な対応について調べる 復：要点整理
16	定期試験		